



よらいいや
よらいいや

公民館

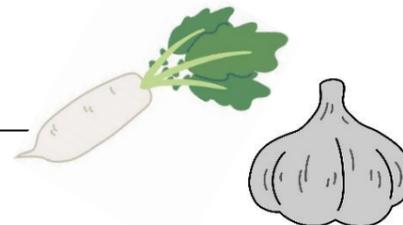


冷静に状況判断しましょう・・・米不足

私が中学生の頃、トイレットペーパーが店頭から消えたという情報から、トイレットペーパーの買い占めをする人が続出し、本当に買おうにも買えない状態になったことがあります。つい最近では、マスクが足りないと言って必要以上に買う人が続出、値段が釣り上がりました。そして現在、米不足によって必要以上に米を買い溜めする人が増え、米価格が上がりました。米農家にとって値段が上がることは収入増に繋がるので、ある程度は容認すべきと思いますが、買い溜めによって上がり過ぎるのはどうかと思います。価格急騰のきっかけは米不足であっても、パニック状態で必要以上に米を買う人がたくさんいるから店頭から消え、値上がりするのでしょう。マスクでも「新米が出ると、米不足は解消するだろう」と言っているのでもう大丈夫だと思います。そもそも、普段からパン食が増加しつつある日本で、新米が出るまで少しの間米が無いと言ってもさほど困らないはずで、米不足はほんの一例ですが、要は「冷静に状況判断しましょう」ということです。トイレットペーパー・マスク、米・・・パニック状態になって余分な買い溜めする人が増えると本当に不足し値上がりするパターンを、冷静に状況判断することで回避したいものです。



とくさんの畑日記



暑過ぎる!! 大根も災難?

今年も大変暑くて、畑仕事をしようという気になりませんでした。たまに、早起きして作業しましたが、それでも熱中症になりそうでした。去年、種を蒔く時期は外してはいけないと教えていただき、暑かったけれど、この時期にがんばって半分ほど蒔きました。「残りは涼しくなってから」と思っていたら天候が悪くなり、結局半分しか蒔けず、あまり穫れませんでした。今年も9月2日には種蒔きをしたのですが、写真のとおりほとんど芽が出ず、出たものも枯れたり虫に食べられたり、8畝蒔いてまともに育っているのが10本ほどしかありませんでした。

種蒔きが早過ぎたのか、気温が高過ぎたのか・・・。原因は分かりませんが暑過ぎたのは事実。気温がちょっと低くなってから、もう一度種を買い、最初から蒔き直しました。労力もかなり使いました。

来月号では、結果がどうだったか書こうと思います。



9月2日に撒いたのに、9月17日での有様・・・。暑いせい?

シリーズ 知っていましたか、青谷のこと?

青谷音楽祭は凄かった!

9月21日(土)・22日(日)に、青谷かみじち史跡公園にぎわい交流広場で、遠くは北海道から一流アーティストたちが集まり、「青谷音楽祭」が開催されました。私はあまり知りませんが、出演者は全国的に有名な方ばかりで、娘は「これだけ豪華な顔ぶれ、よく青谷に集めたなあ!!」と言っていました。若者の中ではメジャーな人たちだったようです。また、店舗も100以上出店しており、時折の雨が残念でしたが、2日間、聴いて・叫んで・食べて・飲んで・買って・・・と楽しむことができました。

青谷さんほど同様、実行委員長を務めた柘田康広さんは、「アーティストさんにも、店舗を出してくれた人にも、観客の方にも喜んでもらって嬉しい。」と語っていました。

ところで、どうしてこんなメジャーな人たちを青谷に呼べたのか聞いてみました。「ライブハウスの仕事もしているので繋がりはありますが、何と言っても熱意ですね。」ということです。熱意と言っても、北海道からでも青谷にやって来るというのは凄い。

店をたくさん集めたことについては、「いいゲストが揃ったので、店の方にもよい影響があったと思います。」いいゲストを集めたら多くの店が集まり、多くの観客が来るということでしょう。こういうまちづくりの仕方もあるのだなと思いました。



「青谷最高!」の掛け声とともに、タオルや手を振る大勢の観客。会場の盛り上がりは凄かった【於 青谷かみじち史跡公園】

おわりに

先日、青谷中学校で「CHA³(チャチャチャ)プログラム」という事業があり、私も地域の大人として呼ばれて参加しました。この事業は県教育委員会主催で、中学生と地域の大人・大学生が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話す、中学生のための事業です。出会う機会(Chance)自分を変える(Change)挑戦する(Challenge)でこの名前になったそうです。

中学生が、初めて会った大人や大学生に自分のことなんて話せるかなと不安に思っていたのですが、青谷中学校の生徒はなかなかのもので、多くは自分の思いをある程度伝えることができた振り返っていたそうです。事業後会場からは、「青谷の未来は明るい」という声が聞かれました。

このような取り組みをしている青谷中学校は素晴らしいと思いました。